

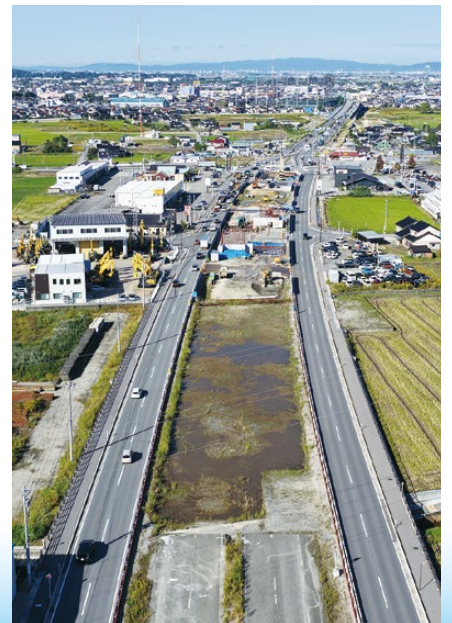
令和8年度 事業概要



【第37回川の絵画コンクール受賞作品】



【第37回川の絵画コンクール受賞作品】



国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所



富山河川国道事務所について



国土交通省は、国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全、そのための社会資本の総合的な整備、交通政策の推進、観光立国の実現に向けた施策の推進、気象業務の健全な発達並びに海上の安全及び治安の確保を図ることを任務としています。

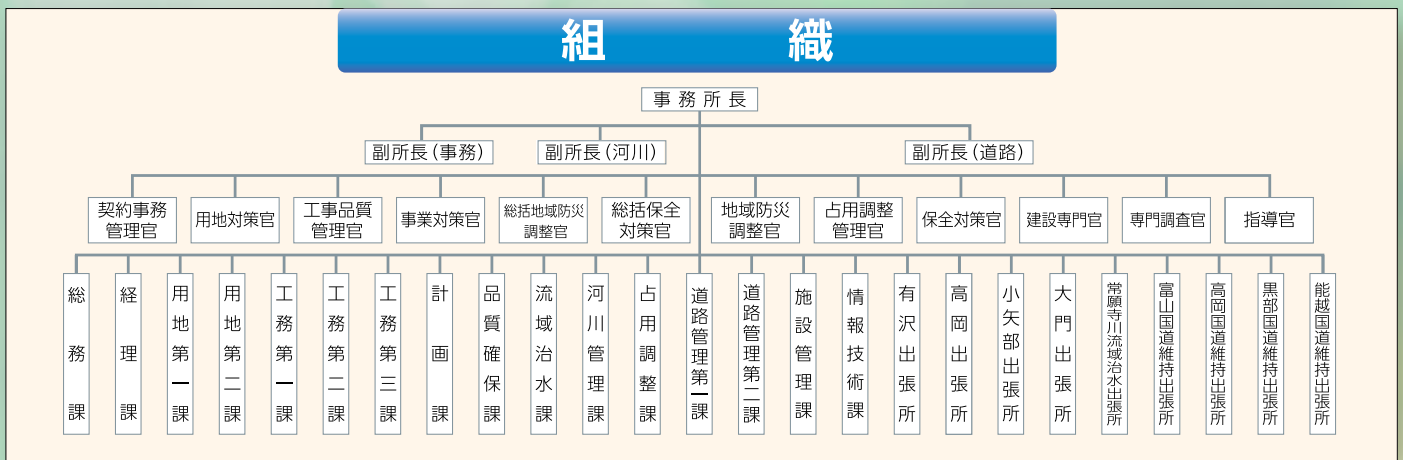
当事務所は国土交通省に所属する組織として、次の業務を行っています。

(河川事業)

常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川の改修・維持管理・洪水予報・水防警報、河川内の行為の許認可

(道路事業)

国道8号、41号、156号、160号、415号(改築のみ)及び470号の改築工事・維持修繕・交通安全・電線共同溝・除雪・その他の管理



沿 革

- 昭和11年 6月 内務省常願寺川改修事務所設置
- 昭和18年 4月 小矢部川改修事務所及び庄川改修事務所を統合して高岡工事事務所を設置
- 昭和18年11月 常願寺川改修事務所を富山工事事務所に名称変更
- 昭和23年 7月 建設省中部地方建設局発足
- 昭和33年 6月 建設省北陸地方建設局発足
- 昭和39年 7月 高岡工事事務所を統合し、新たに富山工事事務所となる
- 平成13年 1月 国土交通省北陸地方整備局発足
- 平成15年 4月 富山河川国道事務所に名称変更
- 平成18年11月 富山河川国道事務所を富山市石金から現在地(富山市奥田新町)に移転

予 算

河川事業の予算内訳

単位：百万円

| 河川事業費目 | 令和8年度 |
|-------------|---------|
| | (当初予算) |
| 直轄河川改修費 | 2,088 |
| 総合水系環境整備事業費 | 67.5 |
| 直轄河川災害復旧事業費 | 0 |
| 合計 | 2,155.5 |

※調査関係費及び維持修繕関係予算は含まれていません
※事業費には工事諸費は含まれていません

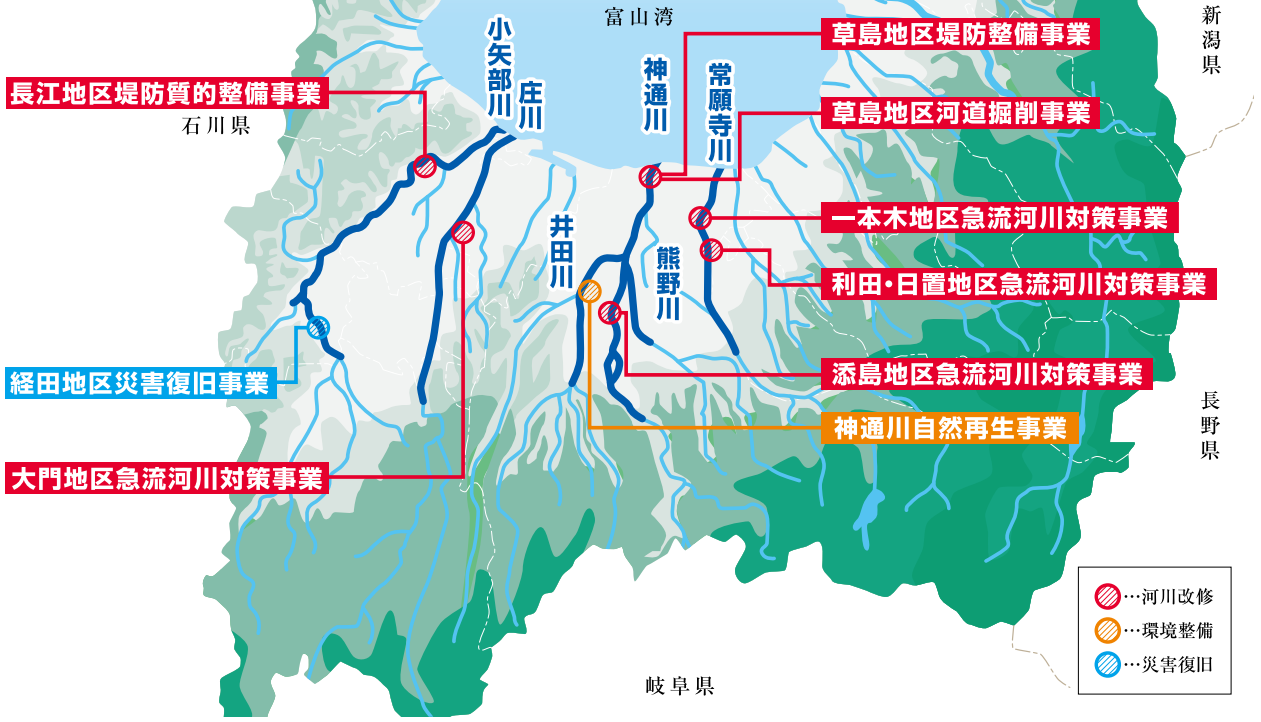
道路事業の予算内訳

単位：百万円

| 道路事業費目 | 令和8年度 |
|------------|--------|
| | (当初予算) |
| 改築事業 | 7,865 |
| 電線共同溝事業 | 539 |
| 交通安全事業(Ⅰ種) | 991 |
| 交通安全事業(Ⅱ種) | 518 |
| 合計 | 9,913 |

※道路調査費、附帯工事費及び維持修繕関係予算は含まれていません
※事業費には工事諸費は含まれていません

令和8年度
富山河川国道事務所
河川事業箇所



令和8年度
富山河川国道事務所
道路事業(直轄改築)箇所



流域の安全確保

安全安心な地域づくりを目指し、堤防整備(堤防のかさ上げや拡幅等)、急流河川対策(洗掘や侵食に対する安全を確保する必要がある箇所)に護岸を施工)などを行い、洪水に対する被害防止又は軽減を図ります。

堤防整備事業

神通川下流部の左右岸は人口の集中する地区であり、洪水による氾濫が発生した場合の被害が大きい地域になります。洪水による氾濫から地域を守り、地域住民の安全・安心を確保するため、堤防のかさ上げや拡幅等の堤防整備を行います。

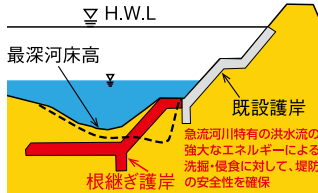
令和8年度は、神通川草島地区で堤防整備を行います。



神通川 富山市牛島地区

急流河川対策

令和8年度は、常願寺川一本木地区、利田・日置地区、神通川添島地区、庄川大門地区で急流河川対策を行います。



常願寺川における急流河川対策



常願寺川 立山町利田・日置地区

重要水防箇所

重要水防箇所とは、洪水時に危険が予想されるため、重点的に巡視する必要がある箇所です。重要水防箇所には「A:水防上最も重要な区間」「B:水防上重要な区間」「要注意区間」の種別があり、堤防の高さ不足などの観点で区分しています。富山河川国道事務所では、県や市町村、関係機関と水防連絡会を組織し、重要水防箇所の河川巡視を実施しています。

重要水防箇所数

| | 重要(A) | 重要(B) |
|------|-------|-------|
| 常願寺川 | 5 | 35 |
| 神通川 | 15 | 167 |
| 庄川 | 18 | 56 |
| 小矢部川 | 8 | 66 |

神通川は井田川、熊野川を含む。
小矢部川は洪江川を含む。
令和8年3月末現在



水防河川巡視

流域治水の取組

令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水災害の激甚化・頻発化に備え、国、県、市町村等のあらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる流域治水対策「流域治水プロジェクト」の推進に取り組んでいます。

| ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | ② 被害対象を減少させるための対策 | ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 流域内の県、市町村による対策 |
|--|---|--|--|
| <p>河川改修事業(堤防整備) など</p> <p>富山大橋 神通川</p> <p>富山市街地重点防衛築堤事業で整備した神通川の堤防【令和5年6月完成】</p> | <p>霞堤の保全 など</p> <p>【霞堤の効果】 上流で氾濫した水を開口部から川へ戻し、被害の拡大を防ぐ</p> <p>常願寺川の霞堤</p> | <p>水防災教育(出前講座の活用) など</p> <p>地域住民への流域治水の啓発</p> <p>洪水ハザードマップ出前講座の開催(富山市)</p> | <p>① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ・水田貯留施設、雨水貯留施設、下水道等の排水施設の整備 など</p> <p>② 被害対象を減少させるための対策 ・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組 など</p> <p>③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 ・洪水ハザードマップの配布、マイ・タイムラインの作成・普及 など</p> <p>関係者との連携を深めるための合同現場視察会(岸渡調整池)</p> |

洪水時の適切な情報伝達

| 警戒レベル | 新たな避難情報等 | これまでの避難情報等 |
|-------|------------------------------------|----------------------------------|
| 5 | <p>緊急安全確保※1</p> <p>せんぱうあんぜんかくほ</p> | <p>災害発生情報 (発生を確認したときに発令)</p> |
| 4 | <p>避難指示※2</p> <p>ひなんじ</p> | <p>避難指示(緊急) 避難勧告</p> |
| 3 | <p>高齢者等避難※3</p> <p>こうれいしゃとうひなん</p> | <p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p> |
| 2 | <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p> | <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p> |
| 1 | <p>早期注意情報 (気象庁)</p> | <p>早期注意情報 (気象庁)</p> |

河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるよう、洪水時には適切な情報伝達を行っています。常願寺川・神通川・庄川・小矢部川において、洪水の恐れがある時は警戒レベルに応じて気象庁と共同で洪水予報を発表します。

- ※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
- ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
- ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。



川の防災情報

● 河川管理

■ 河川パトロール

堤防等の河川管理施設に異常がないか、河川が適正に利用されているか巡視しています。

河川区域内では、釣りやスポーツなど各種利用がされています。河川空間の適正な利用の促進を図るため、不法占用、ゴミの不法投棄などについて監視と指導を行っています。また、洪水時や地震時には、河川の状況を常時監視し、異常があれば速やかに対応するため、パトロールを実施しています。

河川管理区間

| 出張所名 | 河川名 | 区 間 | 延長(km) |
|----------------------|------|--------------|--------|
| 常願寺川流域治水出張所 | 常願寺川 | 河口～横江堰堤 | 21.5 |
| 有沢出張所 (合計48.1km) | 神通川 | 河口～神三ダム下流 | 25.2 |
| | 西派川 | 合流点～分派点 | 2.4 |
| | 井田川 | 合流点～十三石橋下流 | 14.8 |
| | 熊野川 | 合流点～興南大橋下流端 | 5.7 |
| 大門出張所 | 庄川 | 河口～庄川合口堰堤 | 26.1 |
| 高岡出張所 | 小矢部川 | 河口～五位橋下流端 | 16.5 |
| 小矢部出張所 (合計20.9km) | | 五位橋下流端～旅川合流点 | 18.9 |
| | 渋江川 | 合流点～羽根橋上流 | 2.0 |
| 事務所計 | | | 133.1 |



河川点検巡視支援システムを用いた河川パトロール



河川管理施設の点検

■ 河川管理施設の維持管理

堤防、護岸など河川管理施設については、常に良好な施設の状態を保つため点検を行っています。堤防除草により、河川巡視、点検するための環境を整備し、点検で河川管理施設の傷み具合や不具合等を発見した場合には、変状の度合いに応じた対策を行うなど、適切な維持管理に努めています。

河川管理施設の堰や水門、樋門については、操作が必要な施設となっていて、氾濫が生じないように開閉などの操作を行っています。



堤防除草(遠隔操縦式)

■ 河川管理施設数と流量・水質測定箇所数

※…揚水機場合含む

| 河川名 | 管理延長(km) | 堰 | 床止 | 水門 | 樋門 | 排水機場 | 流量観測所 | 水質測定箇所 |
|--------|----------|---|----|----|----|------|-------|--------|
| 常願寺川水系 | 21.5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| 神通川水系 | 48.1 | 1 | 0 | 2 | 8 | 0 | 6 | 5 |
| 庄川水系 | 26.1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 3 | 2 |
| 小矢部川水系 | 37.4 | 1 | 0 | 0 | 29 | 1 | 6 | 3 |



流量観測

■ 水質事故対策訓練

油流出等による河川の水質汚濁を防ぐため、緊急時に迅速な対応を行うことを目的に関係機関も参加し、油処理方法の説明やオイルフェンス・吸着マットを実際に河川に設置する訓練を行っています。



油流出防止訓練

● 道路管理

■ 道路パトロール

道路を安全に通行できるよう、道路の異状や損傷、落下物がないか定期的に巡回を行っています。

また、道路の機能を維持するため、除草、剪定、清掃作業等を行っています。



道路パトロールによる路面補修

路線別指定区間

| 出張所名 | 路線名 | 区 間 | 延長(km) |
|----------------------------|--------|-------------------|--------|
| 黒部国道維持出張所 (担当延長:48.7km) | 国道8号 | 下新川郡朝日町境～富山市水橋二杉 | 48.7 |
| 富山国道維持出張所 (担当延長:56.3km) | 国道8号 | 富山市水橋二杉～高岡市下石瀬 | 21.7 |
| | 国道41号 | 岐阜県飛騨市神岡町谷～富山市金泉寺 | 34.6 |
| 高岡国道維持出張所 (担当延長:55.7km) | 国道8号 | 高岡市下石瀬～石川県北郡津幡町九折 | 27.1 |
| | 国道156号 | 砺波市庄川町小牧～高岡市上四屋 | 28.6 |
| 能越国道維持出張所 (担当延長:56.3km) | 国道160号 | 氷見市脇～高岡市四屋 | 26.2 |
| | 国道470号 | 氷見市脇～高岡市池田 | 30.1 |
| 事務所計 | | | 217.0 |

■ 道路施設の維持管理

高度経済成長期に集中的に整備されたトンネルや橋梁などは、今後急速に老朽化することが懸念されることから、定期的な点検、健全度の診断、修繕を繰り返し行うことにより、安全・安心の確保に努めています。

また、平成26年5月に富山県内すべての道路管理者(国、高速道路会社、富山県、県内市町村)からなる「道路メンテナンス会議」を設立し、毎年定期的に道路施設の点検、修繕等について相互に連絡調整を行い、老朽化への対策強化を図っています。



橋梁点検
(国道41号富山市楡原 布尻楡原大橋)



トンネル点検
(国道470号氷見市姿 宇奈比トンネル)



富山県道路メンテナンス会議

■ 冬期間の道路交通確保

大雪の時に道路で大規模な立往生を起こさないようにするため、以下の取組を行っています。

● 予防的通行規制区間

過去に走行不能車両が発生した箇所や道路勾配が急な区間について、立ち往生を予防するため通行止めをする区間を予防的通行規制区間として指定しています。

通行止めをしている間に、集中的に除雪作業を実施します。



| 路線名 | No. | 延長(km) | 区間名 |
|--------|-----|--------|-----------------------------|
| 国道8号 | ① | 9.3 | 朝日町境～朝日町月山 |
| | ② | 1.0 | 魚津市友道～魚津市住吉 |
| | ③ | 7.6 | 小矢部市桜町～津幡町九折 |
| 国道41号 | ④ | 4.5 | 富山市猪谷～富山市庵谷 |
| 国道470号 | ⑤ | 30.1 | 能越県境PA～高岡IC (氷見市脇～高岡市池田) |

● 除雪体制の確保

降雪期には87台の除雪機械を配備して作業を実施しています。道路除雪をスムーズに行うために、降雪・凍結の予測、交通量や路面状況などの正確な情報が欠かせません。そのため、監視カメラなどの道路情報機器やパトロールでの情報を集め、迅速な対応に努めています。



除雪トラックの運転状況

● 消融雪施設の更新

管内では、85箇所の消融雪施設を稼働させて道路の消雪を行っています。施設の老朽化が進行している箇所から計画的に更新や補修を行い、施設の長寿命化に努めます。



散水部が目詰まりし、老朽化した消雪施設
(国道156号 高岡市清水町)

■ 富山冬期交通確保連携会議

大雪・寒波による県内及び隣県の幹線道路の立ち往生や都市部の交通渋滞等の回避を目的として、関係機関(18機関)で合同訓練や情報共有を行い、雪に強い道路管理を推進しています。



冬期交通確保連携会議

● 災害に強い道づくり

■ 通行規制・集落の孤立化への対策

管内直轄国道は、災害時の緊急輸送路の要となる第1次緊急輸送路に指定されています。しかし、複数の路線が県境部付近に雨量規制区間を抱えています。通行止めの際には、大きな迂回の発生や沿線集落の孤立化が懸念されることから防災対策を実施しています。

事前通行規制区間及び規制基準



| 番号 | 路線名 | 規制区間 | | 規制条件(通行止) 気象等基準値 | 危険内容 |
|----|-----|---------------------------|--------|---------------------------|----------------|
| | | 区間 | 延長(km) | | |
| ① | 8 | 富山県小矢部市安楽寺 石川県河北郡津幡町九折 | 1.6 | 連続雨量180mm | 土砂崩落 |
| ② | 41 | 富山県富山市猪谷 〃〃片掛 | 1.6 | 連続雨量120mm 雪崩の発生が予想される時 | 落石等 雪崩 |
| ③ | 156 | 富山県砺波市庄川町小牧 〃〃金屋 | 2.5 | 連続雨量150mm 雪崩の発生が予想される時 | 落石等、雪崩 土砂崩落 |
| ④ | 160 | 富山県水見市中波 〃〃宇波 | 5.7 | 連続雨量160mm | 土砂崩落 落石等 |
| ⑤ | 160 | 富山県水見市宇波 〃〃藪田 | 2.3 | 連続雨量160mm | 土砂崩落 落石等 |

● 災害への備え

■ 災害対策用機械等の整備・訓練

災害時、自治体や他地方整備局へ迅速な支援を行うため、日頃から災害対策用機械やKu-SAT(衛星小型画像伝送装置)等の通信機器の点検・整備に努めています。排水ポンプ車と照明車を使った訓練も定期的に行っています。



富山防災センターでの訓練状況

■ 災害協定者との検討会(意見交換会)、現地確認の実施

大規模な河川災害が発生した際、迅速に復旧工事を行えるよう災害協定者(21名)と洪水期前に、危険が予想される箇所の現地確認や洪水対応について意見交換を行っています。また、堤防決壊時等の緊急対策シミュレーション検討会を実施しています。



検討会

● 防災対策

道路は人の移動、物資の輸送等に大きな役割を果たしています。この機能を確保するために災害に強い整備を行うことが重要であるとともに、被害が生じた場合には早期に道路やライフラインを確保することが必要です。

■ 斜面对策

人工的に形成された切土・盛土斜面を降雨や表流水などによる浸食から守り、自然斜面で発生する落石・崩壊・地滑り等を抑止すること等が斜面对策です。

斜面災害等は救急・消防活動および経済活動に重大な支障をきたすことから、確実な通行を確保するため斜面对策等の推進に取り組んでいます。



斜面对策 対策前



斜面对策 対策後
(国道8号 小矢部市安楽寺)

■ 道の駅防災拠点化

道の駅は、休憩及び情報発信機能の他、災害時の輸送拠点・道路交差情報提供等の防災拠点として機能します。令和7年5月に「防災道の駅」として万葉の里高岡が追加選定され、防災機能強化を進めています。



道の駅KOKOくろべ 防災備蓄倉庫

■ 福岡防災ステーション

小矢部川左岸20.2km付近に位置し、災害時の地域防災拠点です。排水ポンプ車2台・照明車2台が配備されています。

令和6年能登半島地震の際は、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動拠点として活用しました。



令和6年能登半島地震時の活用状況
写真提供:近畿地方整備局

■ 緊急河川敷道路・防災ヘリポート

主要幹線道路間の非常時の物資輸送や緊急車両の通行を確保するため、神通川右岸の河川敷等で緊急河川敷道路と2ヶ所の防災ヘリポートを整備しています。

平常時には、散歩やマラソン大会等にも利用されています。

■ ヘリサイン

災害時に、防災ヘリコプターが上空から被災箇所を速やかに特定するための目印として、堤防上に河川名や橋梁名等のヘリサイン(対空標示)を設置しています。



ヘリサインの設置状況(小矢部川、茅蜷橋)

災害支援活動

テック フォース TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)

※Technical Emergency Control FORCE: テックフォース

- TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)とは、被災した地方公共団体等の災害対応を支援する国土交通省の組織で、平成20年4月に創設されました。
- TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、地方公共団体からの要請等に基づき出動し、被災状況の迅速な把握、被害の発生・拡大防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

【東海北陸自動車道への豪雪災害支援】

令和3年1月7日からの強い冬型の気圧配置により富山県内は記録的な豪雪となり、東海北陸自動車道で大規模な立ち往生が発生しました。北陸地方整備局に支援要請があり、富山河川国道事務所から除雪支援としてロータリー除雪車1台と除雪ドーザ1台を派遣しました。



東海北陸自動車道の除雪支援を行う除雪ドーザ

【令和6年能登半島地震による被災地への支援】

令和6年1月1日夕方に発生した石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震により土砂崩落や倒木による道路の通行止め、住宅倒壊、断水など北陸地方の広い範囲で大規模な災害が発生し富山県内においても震度5強を観測しました。

富山河川国道事務所からの災害支援として石川県能登地方の道路啓開作業、河川の被災状況調査、照明車派遣や自治体からの支援要請よりブルーシート、飲料水、土のう袋等の提供を行いました。



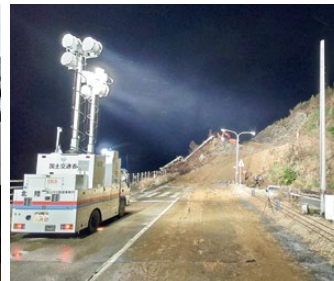
大西山川の被災状況調査(輪島市東印内町)



道路啓開作業(珠洲市宝立町)



支援物資(土嚢袋)の提供(高岡市)



照明車派遣及び道路啓開作業(輪島市里町)



給水車派遣(かほく市)

【令和6年石川県能登地方の豪雨による被災地への支援】

令和6年9月20日からの線状降水帯などの影響により記録的な大雨となり、石川県輪島市、珠洲市、能登町の広い範囲で河川氾濫、土砂災害等が発生しました。

富山河川国道事務所からの災害支援として河川被災状況調査、道路被災状況調査、停電が発生した避難所への電源支援として照明車を派遣しました。



仁行川の被災状況調査(輪島市三井町)



道路の被災状況調査(能登町当目)



大谷小中学校内避難所への電源支援(珠洲市大谷町)

● 防災ネット富山

国、富山県、県内各市町村がそれぞれの保有する光ケーブルで繋がることにより、全県域で雨量・水位データ、国道や河川などのカメラ映像を共有することが可能となりました。なお、一般家庭でもこれらのデータと同じものをインターネットで見ることが出来ます。

この防災の情報網「防災ネット富山」により、早い段階から災害に備えることが可能になっています。

防災ネット富山

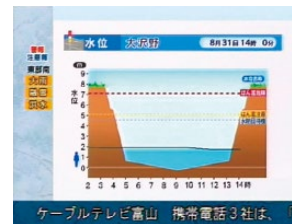
<https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/bousainet/palette/>



● ケーブルテレビ・ラジオ・地上デジタル放送との連携

国と富山県ケーブルテレビ協議会は、「防災ネット富山」のデータを利用し、ケーブルテレビで災害情報番組を放映できる体制となっており、インターネット環境がない家庭でも、防災情報を視聴できることに加え、ラジオ放送に関して、富山シティエフエム(株)、(株)エフエムとなみ、(株)ラジオたかおか及び(株)新川コミュニティ放送と災害時のラジオ放送に関する協定を締結しています。

平成25年6月からはより身近に河川情報を入手し、適切な避難行動に役立ててもらうため地上デジタル放送(データ放送)による河川情報の提供を開始しています。



● 雪みちネットワーク富山

平成22年12月から、富山高岡都市圏における冬期道路交通の確保のため雪害対策重点路線網(「雪みちネットワーク富山」)におけるカメラ静止画像と気象観測情報を提供しています。

「雪みちネットワーク富山」は、富山高岡都市圏において、国道や高速道路が通行止めになったときに代替機能を持つ路線を含み、重点的に除雪を実施する路線です。

富山河川国道事務所では、安心して道路を利用していただくため、効率的な除雪作業により冬期道路交通の確保に努めています。



雪みちネットワーク富山

<https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/yukimichi/index.html>



● 富山河川国道事務所ホームページ及びSNSを活用した情報発信

当事務所ホームページでは、災害時等に役立つ防災情報や河川・道路の管理区間におけるライブカメラ画像を掲載すると共に各事業の紹介などを行っています。

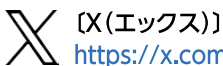


【ホームページ】

<https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>



また、情報の内容や用途に応じて、SNSを活用した情報発信も積極的に行っています。



https://x.com/mlit_toyama

災害時における緊急情報や当事務所が管理する河川及び道路に関する情報を発信しています。

● 公式アカウント

国土交通省 富山河川国道事務所 (@mlit_toyama)



【Instagram(インスタグラム)】
https://www.instagram.com/mlit_toyama/

日々の業務の様子や河川・道路に関連した取り組みの紹介など、フレッシュな情報を発信しています。

● 公式アカウント

国土交通省富山河川国道事務所 (mlit_toyama)



【YouTube(ユーチューブ)】
https://www.youtube.com/@mlit_toyama

河川・道路で実施した事業紹介や啓発動画を配信しています。

● 公式アカウント

北陸地方整備局富山河川国道事務所 (@mlit_toyama)



川の防災情報

国土交通省が運営する防災ポータルサイトです。
 気象・河川・土砂災害等を1画面でまとめて確認することができます。
 また、XRAIN(レーダ雨量)、気象警報・注意報、河川CCTVカメラ、
 川の水位情報、浸水の危険が高まっている河川、洪水予報等の情報が
 掲載されています。

川の防災情報
<https://www.river.go.jp/>



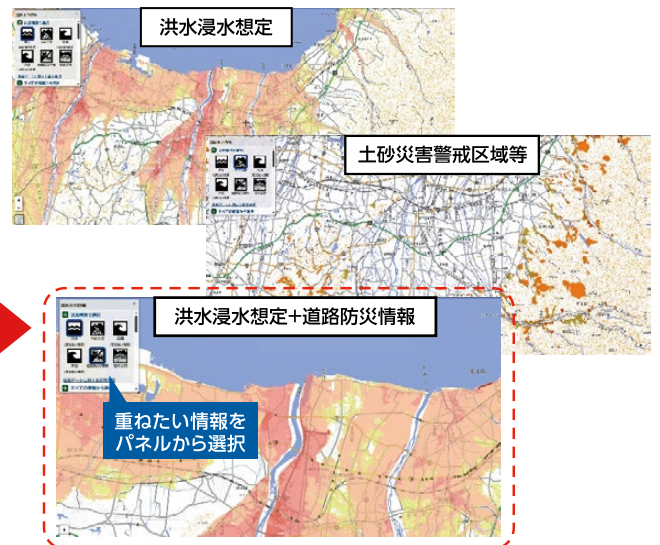
川の画像

ハザードマップポータルサイト

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク表示、道路防災情報、土地の
 特徴・成り立ちといった防災に役立つ様々なリスク情報等を1つの
 地図上に重ねて表示することができます。

重ねるハザードマップ
<https://disaportal.gsi.go.jp/>

ピクトグラムから
 対象を選択



浸水ナビ

検索した地点や河川の浸水シュミレーションを地図上に表示する
 ことができるサイトです。

- ・どの河川が氾濫した場合に浸水するか
 - ・どれくらいの時間で氾濫水が到達するか
 - ・どれくらいの時間、浸水した状態が継続するか
- といった浸水域や浸水深の変化をアニメーションで確認できるため
 浸水リスクを視覚的に把握しやすいものとなっております。

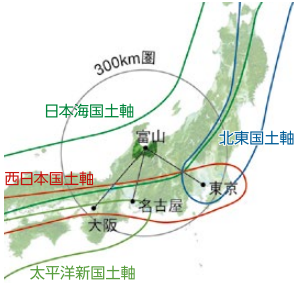
浸水ナビ
<https://suiboumap.gsi.go.jp/>



2 活力・成長力

● 広域的な連携強化

富山県は、日本海側の中央部に位置し、三大都市圏まではほぼ等距離にあります。地域内外との交流・連携をいっそう強めるため、高規格幹線道路・地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワークの整備を促進し、広域的な連携を強化することが必要です。



◎ 国土軸

文化や生活様式を創造するための基礎的条件である気候・風土・文化蓄積・地理的特性などにおいて共通性を持つ地域の連なりからなり、国土の縦断方向に形成される軸状の圏域のことです。都市と自然のネットワークが重層的に共存し、人・物・情報の活発な交流が行われるところです。

● 日本海交流ネットワーク

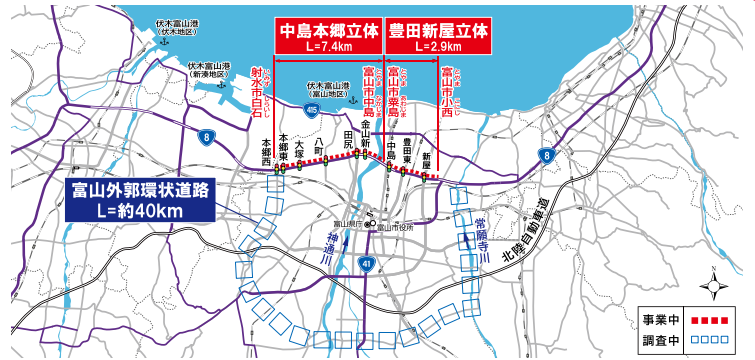
地形的条件や地理的条件を克服するため、富山県では、日本海交流ネットワークの要となるべく、北陸、東海北陸、能越の各自動車道の整備が進められ、これらの高速自動車道網を補完・連携するため、富山市と岐阜県高山市を結ぶ「富山高山連絡道路」をはじめ、都市内交通及び都市間交通の円滑化を図る「富山外郭環状道路」、「高岡環状道路」、「富山高岡連絡道路」の計画及び実施をしています。



富山外郭環状道路

富山外郭環状道路は、富山地域集積圏における延長40kmの環状道路として計画されている地域高規格道路です。

※地域高規格道路とは、高規格幹線道路と一体となって、規格の高い幹線道路ネットワークを形成する道路です。自動車専用道路もしくはこれと同等の高い規格を持ち、概ね60km/h以上の走行サービスを提供します。



中島本郷立体 (国道8号)

中島本郷立体は、国道8号富山市中島～射水市白石間の延長7.4kmの交差点立体化事業です。



国道8号沿線には、製造業を中心に企業が多数立地しています。これらの企業は原料や製品の輸送には当該区間を利用していますが、渋滞による速度低下が円滑な物流を阻害しています。

本事業により、円滑な交通確保、交通事故削減に加え、国際拠点港湾伏木富山港へのアクセス向上による産業活性化の支援が期待されます。

豊田新屋立体 (国道8号)

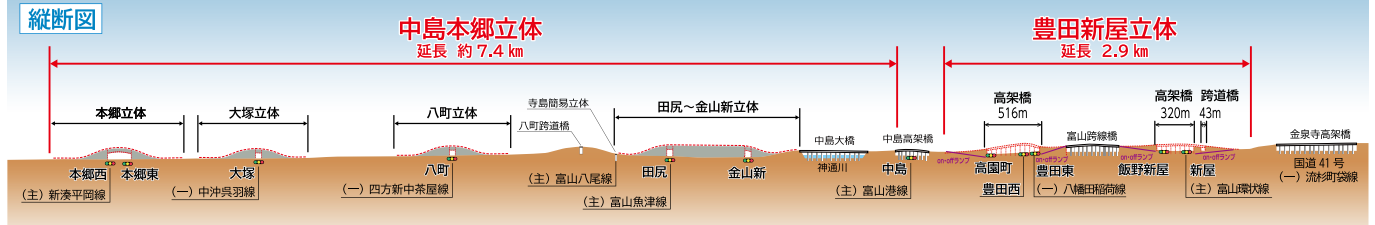
豊田新屋立体は、国道8号富山市小西～同市粟島町間の延長2.9kmの交差点立体化事業です。



当該区間は、富山県東部と西部を行き交う交通と富山市中心部へのアクセス交通が集中する区間であり、慢性的な交通渋滞及び交通事故の多発が課題となっています。

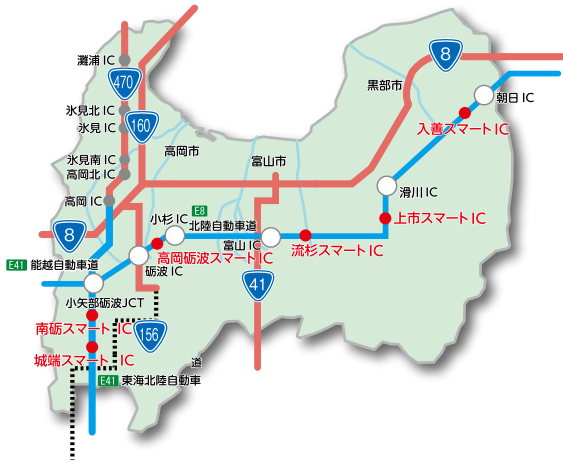
本事業により、国道8号を通過する交通と沿線から出入りする交通(側道を通る交通)が分離されるため、交通渋滞が緩和し、交通事故の削減が期待されます。

縦断図



● スマートインターチェンジ

既存の高速自動車国道の有効活用や、地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため建設・管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジ(ETC専用インターチェンジ)を市町村をはじめ関係機関と連携し導入しています。



● 物流生産性の向上

平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、物流上重要な道路網として指定された「重要物流道路」の機能強化、重点支援を実施します。

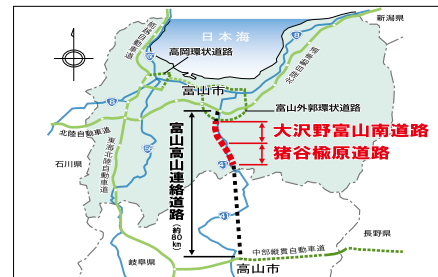
- 国際海上コンテナ車等の円滑な通行を図るため、通常の道路より水準が高い特別の構造基準を設定
- 高速道路から物流施設等に直結する道路の整備に係る無利子貸付制度を新設
- 重要物流道路及びその代替・補完路について、災害時の道路啓開・災害復旧を国が代行



※その他の制限は(車両の通行の許可の手続き等を定める省令)参照

富山高山連絡道路

富山高山連絡道路は、北陸自動車道、東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道などの高規格幹線道路を補完する地域高規格道路として、富山市と高山市を結ぶ延長約80kmの道路です。



猪谷榆原道路 (国道41号)

猪谷榆原道路は、富山高山連絡道路のうち富山市猪谷～同市榆原間の延長7.4kmの事業です。

国道41号は、名古屋市と富山市を結ぶ主要幹線道路です。しかし、当該事業区間は事前通行規制区間(連続雨量120mm等)があり、幹線道路としての役割を十分発揮しているといえない状況にあります。

本事業により、災害に強いネットワークを形成し、交通機能の向上を図るとともに経済活動の活性化や生活環境の改善が期待されます。

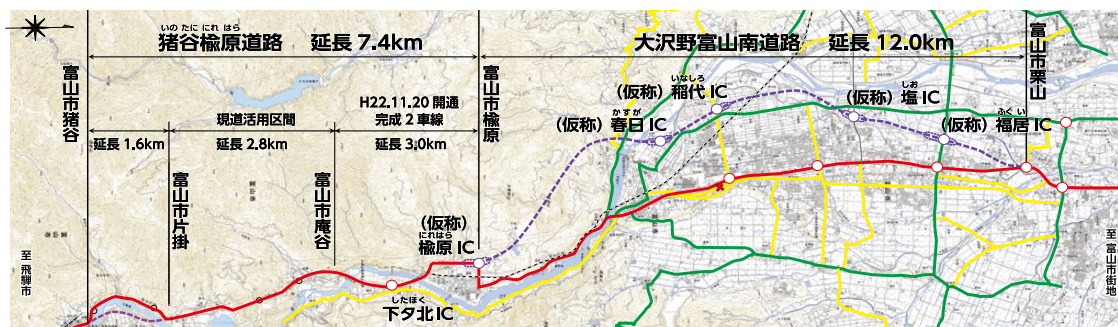


大沢野富山南道路 (国道41号)

大沢野富山南道路は、富山高山連絡道路のうち富山市大沢野～同市栗山間の延長12.0kmの事業です。

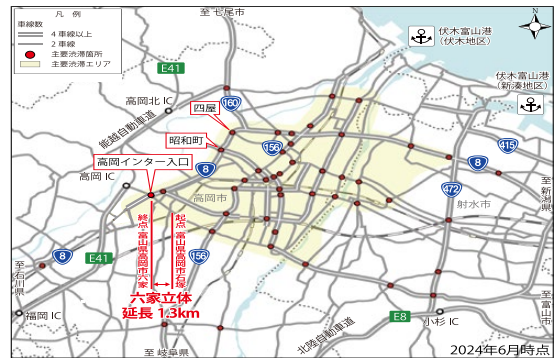
当該区間の大沢野市街地は、交差点が連続しており慢性的な交通渋滞が発生し、これにともなう追突事故も多発しています。

本事業により、交通渋滞の緩和や交通事故の削減のほか、物流の信頼性向上が期待されます。



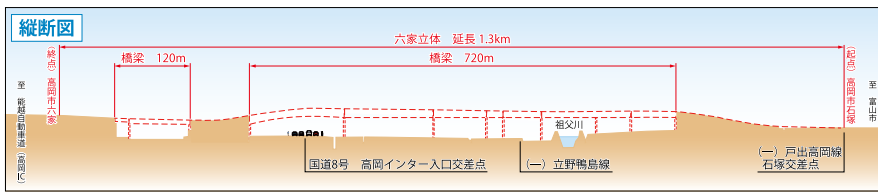
高岡環状道路

高岡環状道路は、能越自動車道と一体で富山県高岡市の環状ネットワークを形成する計画延長約20kmの高規格道路です。



六家立体 (国道8号)

六家立体は、高岡環状道路の一部を構成する、高岡市石塚～同市六家間の延長約1.3kmの交差点立体化事業です。高岡インター入口交差点は、国道8号と能越自動車道、(主)高岡環状線が平面で接続し、交通集中による混雑が発生しています。本事業により、国道8号における通過交通の分散を促し、円滑な東西交通ネットワークの形成を図ることで地域の産業を支援します。



入善黒部バイパス (国道8号)

入善黒部バイパスは、下新川郡入善町梶山～魚津市江口間の延長16.1kmの事業です。平成27年3月に黒部市古御堂から魚津市江口までの延長7.3kmが開通し、入善町上野から魚津市江口のバイパス区間延長14kmがすべてつながりました。

バイパス開通により、主要地へのアクセス向上が図られましたが、入善町梶山から同町上野間では、朝夕通勤時間帯を中心に慢性的な交通渋滞や、速度低下に起因する交通事故も発生しています。

令和8年度は、現道拡幅部(入善町梶山～同町上野)の4車線化整備完成を目指します。



富山朝日防災 (国道8号)

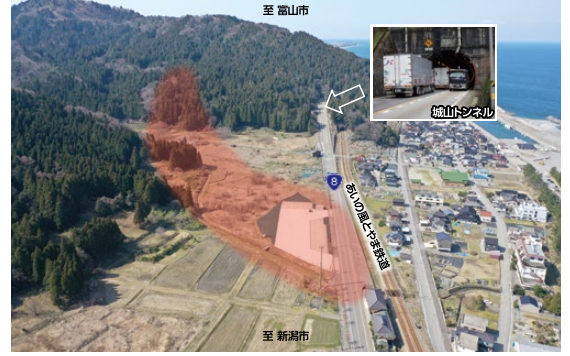
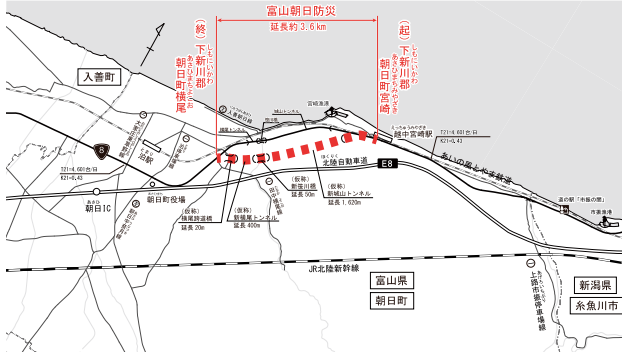
富山朝日防災は、下新川郡朝日町宮崎～同町横尾の延長約3.6kmの事業です。

当該区間は、富山・新潟県境に位置する下新川郡朝日町において、経済・産業・生活を支える重要な幹線道路です。

しかしながら、老朽化した狭隘トンネルと橋梁に加え、急勾配箇所での積雪時の大型車スタックによる交通障害が頻発しています。

また、現道に影響のある地すべり地形などの土砂災害リスクが新たに確認され、国道8号の寸断の恐れがあります。

本事業により、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを形成し、安全・安心な道路環境の確保により、安定した住民生活と地域経済の支援が期待されます。



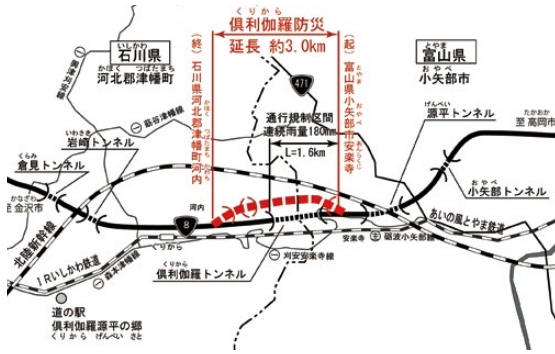
倶利伽羅防災 (国道8号)

倶利伽羅防災は、富山県小矢部市安楽寺～石川県河北郡津幡町河内間の延長約3.0kmの事業です。

当該区間は、新潟・富山・石川の県境部で最も交通量が多い道路であり、北陸地域の人と物などの交流を支える重要な区間となっています。

しかし、大雨等による事前通行規制区間(連続雨量180mm)があり、また、狭く老朽化が進む倶利伽羅トンネルは事故危険区間に指定されており、安全性に課題があります。

本事業により、災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワークを確保し、安全・安心な住民生活と地域経済の支援が期待されます。



氷見羽咋防災 (国道415号)

氷見羽咋防災は、石川県羽咋市菅池町～富山県氷見市論田の延長約2.4kmの直轄権限代行業です。

当該区間は、石川県中能登地域と富山県西部地域を結ぶ区間であり、両県の交流を支える重要な区間となっています。

しかしながら、道路幅員が狭く大型車のすれ違いが困難な箇所や、積雪時の大型車スタックが発生する急勾配区間が存在するなど、走行性・安全性に課題がある道路です。

本事業により、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築し、安全・安心な住民生活と地域経済の支援が期待されます。

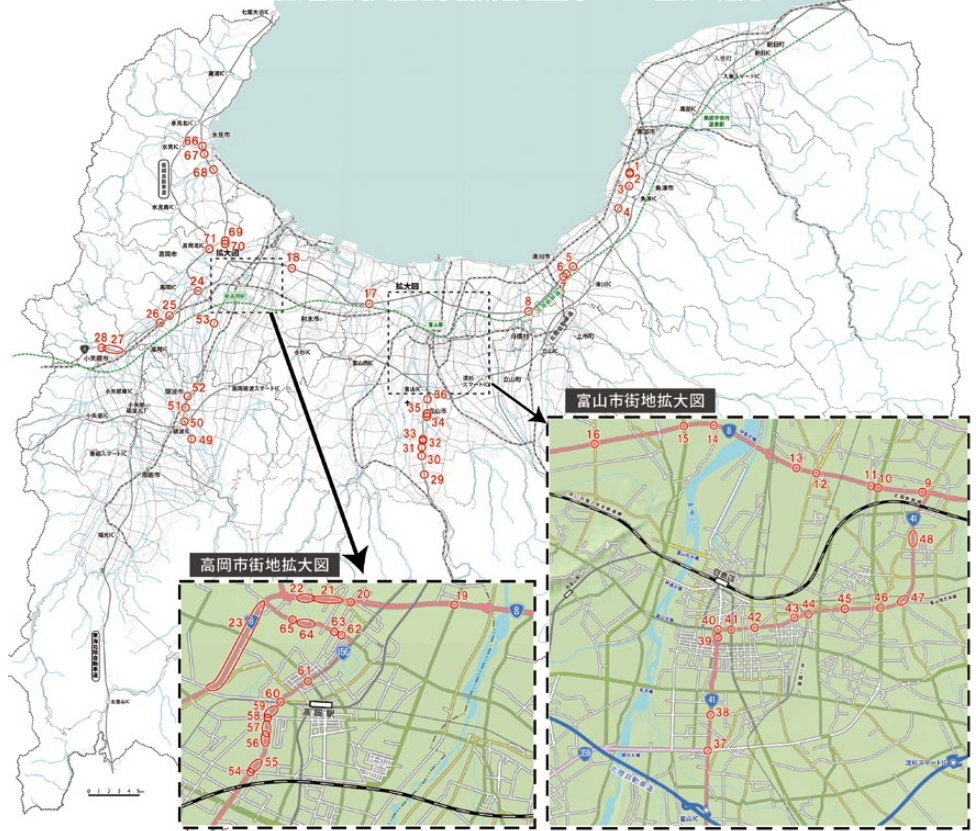


3 暮らし・環境

● 事故ゼロプラン

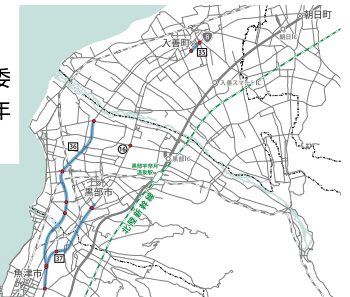
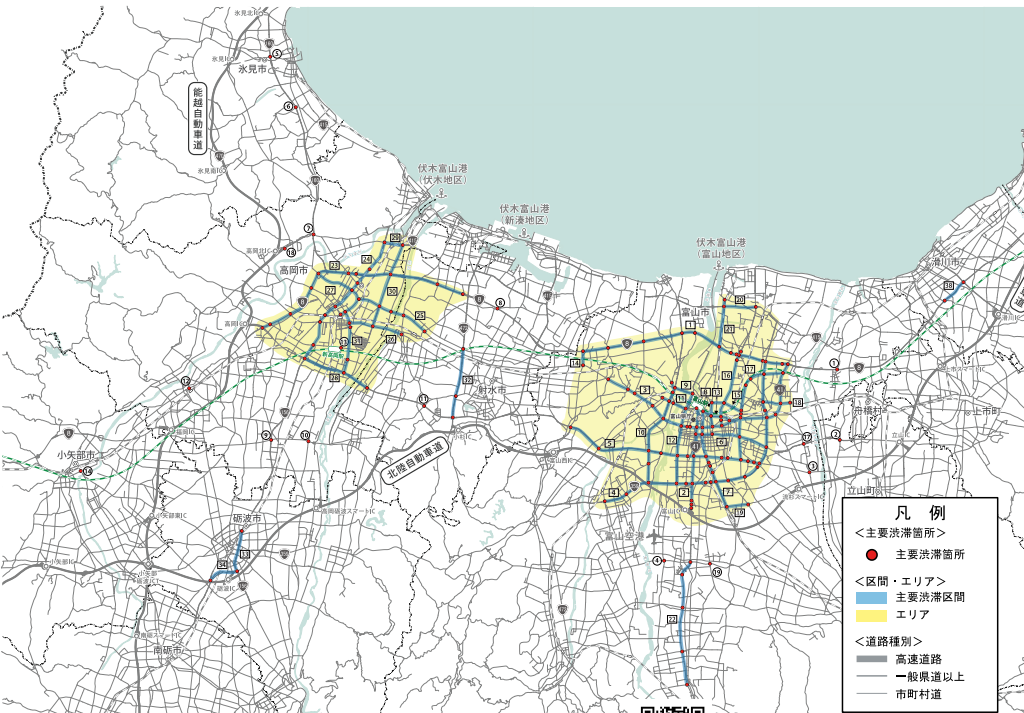
道路利用者に交通事故が起こりやすい危険な箇所との認識を持っていただきながら、集中的・重点的に交通事故の撲滅に取り組むため事故危険区間を選定し、『事故ゼロプラン』として取り組んでいます。令和7年度末現在、富山河川国道事務所管理区間では71箇所が選定されています。

事故対策の取り組み事例
(対向車注意路面表示)
【国道8号 四屋交差点】



● 主要渋滞箇所

富山県内における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、道路利用者と富山県道路安全・円滑化検討委員会の双方の意見を踏まえて、地域全体として実感している渋滞箇所を“地域の主要渋滞箇所”として平成24年度に選定しました。令和7年度末現在、177箇所が選定されています。



ピンポイント渋滞対策の取り組み
【国道8号 安楽寺(西)交差点】



ピンポイント渋滞対策
ビッグデータを用いた分析等により、今ある道路の運用改善や小規模な改良で道路の機能を最大限に発揮する渋滞対策

富山河川国道事務所ウェブサイトアンケートを実施しています。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/jyutai/>



● 無電柱化

国土交通省では、平成28年12月に施行された「無電柱化の推進に関する法律」に基づき、「無電柱化推進計画」を策定。防災、安全・円滑な交通の確保、景観形成・観光振興等の観点から、電柱倒壊リスクがある市街地の緊急輸送道路など無電柱化の必要性の高い道路について重点的に推進していきます。



無電柱化整備後の様子(国道41号富山市東町)

● 日本風景街道

日本風景街道は、郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興の一助となることを目的としています。

富山県内には、「飛越交流 ぶり・ノーベル出世街道」、「蟹気楼ロード」、「合掌・さくら」飛越街道～世界遺産をめぐる道～の3つのルートが登録されています。



日本風景街道ポータルサイト

<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/>



蟹気楼
「蟹気楼ロード」



笹津橋
「飛越交流 ぶり・ノーベル出世街道」

● 神通川自然再生事業

神通川及びその支川では砂利採取や河川改修等の人為的インパクトにより、サクラマスをはじめとする多様な魚類の生息場となる瀬や淵が減少しています。このため、様々な魚類の生息・生育・繁殖のための多様な河川環境の創出・保全を目的に、隠れ場の整備や幼魚の生息場の整備を行う神通川自然再生事業に取り組んでいます。



放流するサクラマス幼魚

手作りによる石組み工の設置(富山市八尾町石戸地先)

河川環境に関心を持つ地元の大学生たちとの石組み工体験を実施。単調な流れの水路に石を積んで「流れに変化」をつけることで、石を積んだ上流側に幼魚の生息環境である「緩い流れ」を創出。そのあとにはサクラマス幼魚の放流も実施。

● 総合学習支援・現場見学会

ふるさとの川と道に親しみ、学ぶ、総合学習を支援するため、毎年さまざまな体験学習会や出前講座を実施しています。これら学習支援の情報発信などを通して、個性豊かな総合学習プログラムづくりをお手伝いしています。



防災出前講座



除雪出動式・体験学習会



富山工業高校出前講座

また、国土交通省や建設業界に興味のある学生や地元住民の皆さんを対象に、工事現場や管理施設等の現場見学会を行っています。



リクルート向け現場見学会



富山大学フィールド実習



富山大学フィールド実習

● 道路協力団体、河川協力団体、ボランティア・サポート・プログラム

国土交通省では、道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応、河川の維持や河川環境の保全等に関する活動を自発的に行う民間団体等を支援する制度として、「道路協力団体」・「河川協力団体」制度を設けています。これらの指定を受けた団体は、道路法・河川法上の許可の特例を受けることができる等、自発的な活動の促進を図り、道路管理・河川管理の充実を図っています。

当事務所管内において、道路では、長年にわたって国道156号砺波市で道路愛護活動に取り組んできた「となみチューリップ街道実行委員会」が、平成28年12月に全国で初めて指定された道路協力団体のひとつとなり、花植や清掃といった従前の活動の他に新たに実施する収益活動により活動の更なる充実を目指しています。

河川では、「常願寺川の清流と桜を愛する会」が河川敷内のゴミ収集、小学校の児童と共に行う水辺環境調査並びに桜づつみ環境保全のための草刈りや施肥・剪定作業の実施など、地域の環境保全に取り組まれています。

また、協力団体制度の他にも、道路や河川の美化等のボランティア活動の実施団体を行政が支援するボランティア・サポート・プログラムや愛護団体といった取り組みも行っています。



道路協力団体の活動状況
団体名:となみチューリップ街道実行委員会
活動場所:国道156号砺波市太郎丸交差点～チューリップ公園前交差点
活動内容:植栽帯の維持管理作業等



河川協力団体の活動状況
団体名:常願寺川の清流と桜を愛する会
活動場所:立山町岩峠野地先(岩峠野桜づつみ)
活動内容:桜づつみ環境保全のための維持管理作業等

●利水

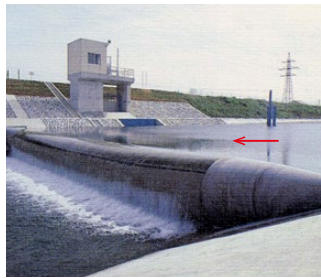
河川は、発電、かんがい用水、上下水道や工業用水などの水源として利用され、地域の発展に欠かせません。正常流量[※]を確保することで、河川水の利用に配慮した、河川の正常な機能の維持に努めています。

※正常流量：河川における正常な機能を維持するために必要な流量として、動植物の保護、漁業、景観、流水の清潔の保持等を考慮して定める流量（維持流量）および水利流量から成る流量。

●河川水質の向上

●松川浄化用水導水事業

松川は、富山市内神通川右岸を流れています。昭和40年代急速な都市化により、水質悪化が進みました。富山県や富山市が中心となり、松川浄化計画に取り組みました。抜本的対策として昭和60年、松川浄化用水取水堰が土川に設置され、水質・水量の改善が図られました。春は遊覧船で桜を楽しめます。



松川浄化用水導水施設



事業前の松川



事業後の松川

●内川浄化用水導水事業

内川は、射水市の庄川右岸河口部に位置します。

家庭や食品加工工場からの排水が滞留し汚濁や臭いが問題となっていました。そのため、揚水機場を建設し、昭和55年に庄川から、河川水を導水しました。水質は改善され、今では観光スポットのひとつになっています。



内川流域浄化揚水機場取水樋管



水質が改善された内川

●水生生物調査

富山県内の小中学生等を対象に、川の中（特に川底）にどのような生きものが棲んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度がわかる“水生生物調査”を実施しています。



水生生物調査状況

●水辺の利用

広々とした河川敷は、洪水を流すだけでなく、平常時は安全で快適な散策やジョギングコース等として利用でき、マラソン大会やパークゴルフ大会が開催され多くの市民が参加されています。また、豊かな自然や川の文化の伝承を目的に、「水辺プラザ」等の情報発信と交流の拠点を整備している他、河川を子供たちの環境教育・体験学習の場とし、自然の中で学べる「水辺の楽校」を整備しています。



神通川水辺プラザ(富山市)



大島北野河川公園(射水市)



神通川緑地公園(富山市)



庄川清流パーク(砺波市)



小矢部川水辺の楽校(小矢部市)

●富山地区広域圏クリーンセンター展望台

常願寺川は上滝周辺で山地から離れ、北西に広がる扇状地を形成しています。地上80メートルの展望室からは常願寺川や公園等を一望することができます。

また、内壁4面には常願寺川の歴史や砂防事業について説明したパネルを設置しており、年末年始を除く毎日9:00～17:00で見学が可能です。



河川

常願寺川

常願寺川は、北アルプスの北ノ俣岳きたのまただけ（標高2,662m）を水源として、わずか56kmで日本海へ流れ出るという我が国屈指の急流河川です。そのため上流部の非常にもろい地盤条件と相まって、上流から流れ出す土砂の量が非常に多いという特徴があり、下流部においては川底が兩岸の土地より高いという天井川を形成しています。また、急流による堤防破堤防止のため、いたるところに「水制」が見られるのも特徴のひとつです。



| | | |
|----------|------------------------|--|
| 水源地及標高 | 富山県富山市(北ノ俣岳 標高 2,662m) | |
| 流域面積 | 368km ² | |
| 幹川流路延長 | 56km | |
| 浸水想定区域面積 | 14.18km ² | |
| 大臣管理区間 | 21.5km | |
| 計画流量 | 瓶岩地点 | 基本高水流量 4,600m ³ /s 計画高水流量 4,600m ³ /s |
| 既往著名出水量 | 瓶岩地点 | 大正3年8月12日 約3,040m ³ /s |
| | | 昭和27年7月1日 約2,200m ³ /s |
| | | 昭和44年8月11日 約3,980m ³ /s |
| | | 平成10年8月12日 約1,550m ³ /s |
| | | 平成17年6月30日 約1,720m ³ /s |

神通川

神通川は、岐阜県の川上岳かおれだけ（標高1,625m）を水源として、飛騨地方から富山県の中央部を通して日本海へそそぐ長さ約120kmの一級河川です。上流部が日本有数の多雨地帯であるため、古くから度々洪水を引き起こしてきました。現在、富山市を中心とする氾濫域は、富山県の社会、経済、文化の中枢を担っているため、水害対策はもちろんのこと、親しみのある快適な河川空間の創造が期待されています。



| | | |
|----------|--|--|
| 水源地及標高 | 岐阜県高山市(川上岳 標高 1,625m) | |
| 流域面積 | 2,720km ² | |
| 幹川流路延長 | 120km | |
| 浸水想定区域面積 | 11.02km ² | |
| 大臣管理区間 | 本川25.2km 西流川2.4km 支川井田川14.8km 支川熊野川5.7km | |
| 計画流量 | 神通大橋地点 | 基本高水流量 9,700m ³ /s 計画高水流量 7,700m ³ /s |
| 既往著名出水量 | 神通大橋地点 | 昭和33年7月26日 約3,900m ³ /s |
| | | 昭和47年7月13日 約4,090m ³ /s |
| | | 昭和58年9月28日 約5,750m ³ /s |
| | | 平成16年10月21日 約6,460m ³ /s |
| | | 平成18年7月19日 約4,540m ³ /s |
| | | 平成26年8月17日 約4,250m ³ /s |
| | | 平成30年7月6日 約4,840m ³ /s |

庄川

庄川は、岐阜県の烏帽子岳えぼしだけ（標高1,625m）と、山中山の山中峠やまなかとうげ（標高1,375m）を水源として、飛騨山地から数々の支川を合わせて富山県に入り、砺波市、高岡市、射水市を経て、日本海へそそぐ長さ約115kmの一級河川です。流域には砺波平野が広がり、越中米やチューリップなど、多くの特産物を生み出しています。しかし、この恵みある流れも、ひとたび洪水になると多くの被害を流域にもたらします。現在、人々の暮らしを守る堤防や護岸の整備がすすめられています。



| | | |
|----------|-------------------------------------|--|
| 水源地及標高 | 岐阜県高山市(烏帽子岳 標高 1,625m、山中峠 標高1,375m) | |
| 流域面積 | 1,189km ² | |
| 幹川流路延長 | 115km | |
| 浸水想定区域面積 | 24.23km ² | |
| 大臣管理区間 | 26.1km | |
| 計画流量 | 雄神地点 | 基本高水流量 6,500m ³ /s 計画高水流量 5,800m ³ /s |
| 既往著名出水量 | 小牧地点 | 昭和9年7月11日 約3,360m ³ /s |
| | 大門地点 | 昭和51年9月11日 約2,650m ³ /s |
| | | 平成16年10月21日 約3,400m ³ /s |
| | | 平成30年7月7日 約2,200m ³ /s |

小矢部川

小矢部川は、富山県の大門山だいもんざん（標高1,572m）を水源とし、小矢部市、高岡市を経て、日本海へそそぐ長さ約68kmの一級河川です。急勾配の河川の多い富山県においては、比較的緩やかな川ですが、かつて庄川の支川として合流していたころは、庄川の出水のたびに逆流が生じ、河口付近では伏木富山港を中心に、大きな被害が起っていました。そこで行なわれた大正元年(1912年)の庄川との分離以来、被害は減少し、地域発展の礎となっています。



| | | |
|----------|-----------------------|--|
| 水源地及標高 | 富山県南砺市(大門山 標高 1,572m) | |
| 流域面積 | 667km ² | |
| 幹川流路延長 | 68km | |
| 浸水想定区域面積 | 6.64km ² | |
| 大臣管理区間 | 本川35.4km 支川渡江川2.0km | |
| 計画流量 | 津沢地点 | 基本高水流量 1,600m ³ /s 計画高水流量 1,300m ³ /s |
| 既往著名出水量 | 西五位地点 | 昭和28年9月26日 約1,300m ³ /s |
| | 津沢地点 | 昭和39年7月18日 約1,210m ³ /s |
| | | 平成2年9月20日 約950m ³ /s |
| | | 平成10年9月22日 約950m ³ /s |
| | | 平成20年7月28日 約1,500m ³ /s |
| | | 平成25年9月16日 約820m ³ /s |
| | 石動地点 | 平成10年9月22日 約1,250m ³ /s |
| | 長江地点 | 平成10年9月22日 約1,590m ³ /s |
| | | 平成29年10月23日 約1,290m ³ /s |
| | | 令和5年7月13日 約1,580m ³ /s |

河川事業の概要

常願寺川 一本木地区急流河川対策事業
 利田・日置地区急流河川対策事業

神通川 草島地区堤防整備事業 草島地区河道掘削事業
 添島地区急流河川対策事業 神通川自然再生事業

庄川 大門地区急流河川対策事業

小矢部川 長江地区堤防質の整備事業 経田地区災害復旧事業

道路

道路管理区間

| 路線名 | 起点及び終点 | 延長 (km) |
|---------|----------------------|---------|
| 国道 8号 | 下新川郡朝日町境～石川県河北郡津幡町九折 | 97.5 |
| 国道 41号 | 岐阜県飛騨市神岡町谷～富山市金泉寺 | 34.6 |
| 国道 156号 | 砺波市庄川町小牧～高岡市上四屋 | 28.6 |
| 国道 160号 | 水見市脇～高岡市四屋 | 26.2 |
| 国道 470号 | 水見市脇～高岡市池田 | 30.1 |
| 事務所計 | | 217.0 |

計画の諸元

国道 8号

富山朝日防災

| | |
|-------|----------------------------------|
| 起点・終点 | 下新川郡朝日町宮崎～朝日町横尾 |
| 延長 | 3.6km |
| 道路の区分 | 第3種第2級 |
| 設計速度 | 60km/h |
| 道路幅員 | 一般部10.5m 1.75+3.5+3.5+1.75 |
| 目的 | 雪や災害に強い道路整備 信頼性の高い道路ネットワークの形成 |
| 事業化年度 | 令和6年度 |



縦断急勾配区間でのスタック車両

入善黒部バイパス

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 起点・終点 | 下新川郡入善町棚山～魚津市江口 |
| 延長 | 16.1km(2/4供用済16.1km) |
| 道路の区分 | 第3種第1級 |
| 設計速度 | 80km/h |
| 道路幅員 | 28.0m 3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5 |
| 目的 | 交通渋滞の緩和 幹線ネットワークの充実強化 沿道環境の改善 |
| 事業化年度 | 昭和62年度・平成2年度 |



整備が進む、上野交差点付近

富山外郭環状道路 豊田新屋立体

| | |
|-------|--|
| 起点・終点 | 富山市小西～富山市粟島町 |
| 延長 | 2.9km |
| 道路の区分 | 第3種第1級 |
| 設計速度 | 80km/h |
| 道路幅員 | 高架部 19.5m 1.25+7.0+3.0+7.0+1.25 側道部 10.0m×2 0.75+3.25+1.5+4.5 |
| 目的 | 幹線ネットワークの充実強化 交通渋滞の緩和 交通事故の削減 |
| 事業化年度 | 平成21年度 |



整備が進む、新屋交差点付近

富山外郭環状道路 中島本郷立体

| | |
|-------|---|
| 起点・終点 | 富山市中島～射水市白石 |
| 延長 | 7.4km |
| 道路の区分 | 第3種第1級 |
| 設計速度 | 80km/h |
| 道路幅員 | 高架部 21.0m 2.0+7.0+0.5+2.0+0.5+7.0+2.0 側道部 12.0m 3.5+1.5+3.25+3.0+0.75 側道部 9.0m 0.75+3.25+1.5+3.5 |
| 目的 | 円滑な交通確保 交通事故の削減 地域産業の活性化支援 |
| 事業化年度 | 令和3年度 |



渋滞の状況(田尻交差点付近)

六家立体

| | |
|-------|---|
| 起点・終点 | 高岡市石塚～高岡市六家 |
| 延長 | 1.3km |
| 道路の区分 | 第3種第1級 |
| 設計速度 | 80km/h |
| 道路幅員 | 高架部 9.5m 1.25+3.5+3.5+1.25 ランプ部 5.5m 1.5+3.25+0.75 |
| 目的 | 円滑な東西交通ネットワークの形成 物流の効率化による地域産業の支援 |
| 事業化年度 | 平成31年度 |



整備が進む、高岡インター入り口交差点付近

倶利伽羅防災

| | |
|-------|--|
| 起点・終点 | 小矢部市安楽寺～河北郡津幡町河内 |
| 延長 | 3.0km |
| 道路の区分 | 第3種第2級 |
| 設計速度 | 60km/h |
| 道路幅員 | 一般部 14.0m 1.75+7.0+1.75+3.5 トンネル部 10.5m 0.5+7.0+0.5+2.5 |
| 目的 | 事前通行規制区間の回避 住民生活の安全・安心の確保 地域経済・地域社会の活性化 |
| 事業化年度 | 平成28年度 |



狭いトンネル内ですれ違う大型車

国道 41号

富山高山連絡道路 猪谷楡原道路

| | |
|-------|--|
| 起点・終点 | 富山市猪谷～富山市楡原 |
| 延長 | 7.4km(供用済5.8km) |
| 道路の区分 | 第3種第2級 |
| 設計速度 | 60km/h |
| 道路幅員 | 一般部 11.0m 2.0+7.0+2.0 |
| 目的 | 事前通行規制区間の回避 急カーブ・急勾配区間及び冬期交通障害の回避 災害に強い幹線道路ネットワークの形成 |
| 事業化年度 | 平成9年度 |



整備が進む(仮称)猪谷橋

富山高山連絡道路 大沢野富山南道路

| | |
|-------|---|
| 起点・終点 | 富山市楡原～富山市栗山 |
| 延長 | 5.8km楡原IC～福代IC 6.2km福代IC～富山市栗山 |
| 道路の区分 | 楡原IC～福代IC(第3種第2級) 福代IC～富山市栗山(第3種第1級) |
| 設計速度 | 楡原IC～福代IC(60km/h) 福代IC～富山市栗山(80km/h) |
| 道路幅員 | 楡原IC～福代IC 10.5m (1.75+3.5+3.5+1.75) 福代IC～富山市栗山 19.75m (1.75+3.5+3.5+2.25+3.5+1.75) |
| 目的 | 交通渋滞の緩和 交通事故の削減 物流の信頼性向上 |
| 事業化年度 | 平成26年度 |



渋滞の状況(上二杉交差点付近)

国道 415号

水見羽咋防災

| | |
|-------|---|
| 起点・終点 | 石川県羽咋市菅池町～富山県水見市論田 |
| 延長 | 2.4km |
| 道路の区分 | 第3種第3級 |
| 設計速度 | 50km/h |
| 道路幅員 | 一般部・橋梁部 11.0m 2.5+1.25+3.0+3.0+1.25 トンネル部 7.5m 0.75+3.0+3.0+0.75 |
| 目的 | 幅員狭小・急勾配区間及び 冬期交通障害の回避 信頼性の高い道路ネットワークの形成 |
| 事業化年度 | 令和7年度 |



走行性の悪い道路状況

道路改築事業の概要

8 富山朝日防災
地質調査、調査設計

8 入善黒部バイパス
調査設計、公共補償、改良工、橋梁上下部工

8 豊田新屋立体
調査設計、公共補償、改良工、橋梁上下部工、舗装工

8 中島本郷立体
調査設計、用地買収

8 六家立体
調査設計、公共補償、橋梁上下部工

8 倶利伽羅防災
調査設計、用地買収、公共補償、改良工

41 大沢野富山南道路
調査設計、用地買収、改良工、橋梁上下部工

41 猪谷楡原道路
調査設計、公共補償、改良工、橋梁下部工

415 水見羽咋防災
調査設計



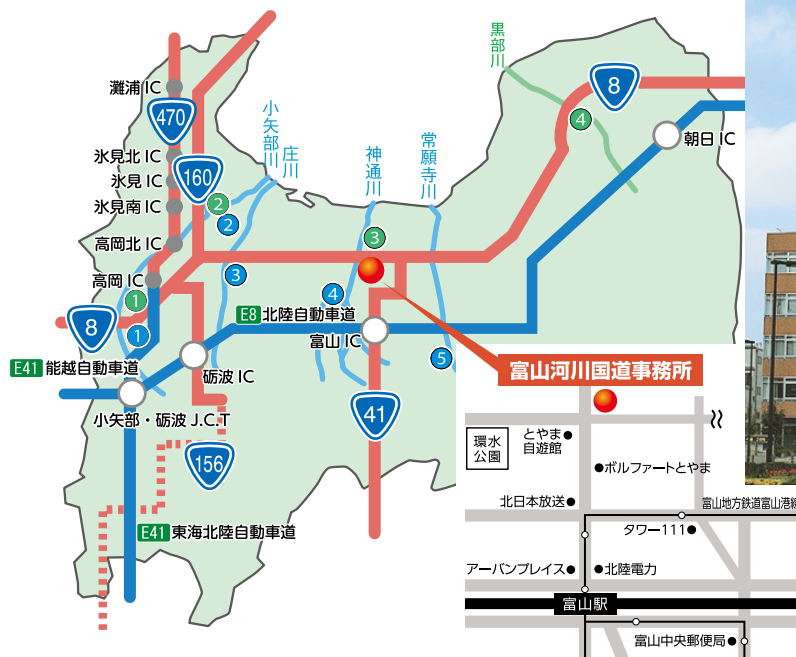
国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所

〒930-8537 富山県富山市奥田新町2番1号 TEL.076-443-4701(代)
URL <https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

| | |
|-------|------------------|
| 総務課 | TEL.076-443-4701 |
| 経理課 | TEL.076-443-4704 |
| 用地第一課 | TEL.076-443-4706 |
| 用地第二課 | TEL.076-443-4707 |
| 工務第一課 | TEL.076-443-4709 |
| 工務第二課 | TEL.076-443-4711 |

| | |
|-------|------------------|
| 工務第三課 | TEL.076-443-4714 |
| 計画課 | TEL.076-443-4717 |
| 品質確保課 | TEL.076-443-4727 |
| 流域治水課 | TEL.076-443-4715 |
| 河川管理課 | TEL.076-443-4720 |
| 占用調整課 | TEL.076-443-4765 |

| | |
|-----------------------|------------------|
| 道路管理第一課 | TEL.076-443-4722 |
| 道路管理第二課 | TEL.076-443-4724 |
| 施設管理課 | TEL.076-443-4728 |
| 情報技術課 | TEL.076-443-4737 |
| 災害情報普及支援室 (流域治水課内) | TEL.076-443-4715 |



河川関係出張所

- ① 小矢部出張所 〒932-0033 小矢部市芹川村中4701
TEL.0766-67-0736
- ② 高岡出張所 〒933-0951 高岡市長慶寺591
TEL.0766-22-1325
- ③ 大門出張所 〒939-0234 射水市二口2547-3
TEL.0766-52-1573
- ④ 有沢出張所 〒930-0862 富山市有沢430-3
TEL.076-425-1042
- ⑤ 常願寺川流域治水出張所 〒930-1312 富山市上滝203
TEL.076-483-1650

道路関係出張所

- ① 高岡国道維持出張所 〒939-0132 高岡市福岡町大滝12-7
TEL.0766-64-5731
- ② 能越国道維持出張所 〒933-0951 高岡市長慶寺591
TEL.0766-23-6776
- ③ 富山国道維持出張所 〒930-0801 富山市中島1丁目2-16
TEL.076-438-5101
- ④ 黒部国道維持出張所 〒938-0801 黒部市荻生大本7180-1
TEL.0765-52-1714



HP



X
@mlit_toyama



YouTube
@mlit_toyama



Instagram
mlit_toyama